

記者発表(資料配布)

月/日	担当課(室)係名	TEL(代表)	発表者名	資料配布先
9/7(木) 14:00	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 (559)2001	次長 田原 直樹 (安井健二)	県教委記者クラブ 三田市政記者クラブ

ミニ企画展「関西の活かしたい自然エリア」の開催について

1 主旨

平成28年11月に関西広域連合が公表した「関西の活かしたい自然エリア」の普及啓発を目的として、自然エリア選定事業の意義と、選定された23エリアの選定理由と範囲と代表的な貴重な自然環境の場所を示した地図を解説するパネルを展示します。特に兵庫県域を含む自然エリアについては、そのエリアを代表する生物の標本も併せて展示します。

※関西の活かしたい自然エリア

関西広域連合は、関西広域環境保全計画を策定し、「生物多様性の恵みを身近に感じる自然共生型社会」の実現に向けて、以下の3つの将来像を掲げています。

- ①自然の恵みを享受し、豊かな地域文化の中で人と自然が共生している
- ②生物多様性と深く関わってきた地域独特の文化や景観が、世代を越えて受け継がれている
- ③最上流部の森林から最下流部の海域に至るまでの、森・川・海のつながりを重視し、府県域を越えた広域で生物多様性が保全・確保されることで、生態系サービスが維持・向上され、関西全体の生態系が保全されている。

この将来像を実現させるためには、関西広域連合の中に、生態系サービスを維持する上で重要な環境が「どこに」「どれくらい」あり、それらが「どのようなつながり」を持っているかを知る必要があります。

「関西の活かしたい自然エリア」は、重要な自然環境の情報を集約し、森・川・海のつながりに着目したエリアとしてまとめ、生態系サービスの維持・向上のための取り組みの方向性を示すために編纂された基盤情報地図です。

2 展示概要

- (1) 期 間：平成29年9月16日(土)～平成29年10月1日(日)
- (2) 場 所：兵庫県立人と自然の博物館 3階 オープンギャラリー
- (3) 展示物：
 - ・関西広域連合が選定した「関西の活かしたい自然エリア」全体の解説パネル(A2サイズ 5点)
 - ・選定された各エリアの解説パネル(A2サイズ 23点)
 - ・兵庫県域を含む「自然エリア」を代表する生物の標本(コウノトリ、オオタカ、クマタカ、干潟の生物、アベサンショウウオ、一庫炭、合計6点)

3 主催

兵庫県立人と自然の博物館

兵庫県三田市弥生が丘6丁目 電話：079-559-2001(代表) URL：<http://www.hitohaku.jp>

関西広域連合 広域環境保全局

滋賀県大津市京町4丁目1番1号 電話：077-522-5664(代表)

URL：<http://www.kouiki-kansai.jp/contents.php?id=31>

4 担当

兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部 橋本佳延

電話&FAX(直通)：079-559-2014 E-mail：quercus@hitohaku.jp

関西広域連合 広域環境保全局 野村俊夫

電話&FAX(直通)：077-522-5668 E-mail：nomura-toshio@pref.shiga.lg.jp

5 展示予定パネル（一部）

関西の活かしたい自然エリア

関西広域連合では情報ネットワークを構築し、春・夏・秋のつばきを調査し、新記録を更新した広域的な観点から、生物多様性保全上重要な地域として、23箇所に「関西の活かしたい自然エリア」を調査しました。

区分	番号	エリア名称
広域圏	1	1 高尾山・丹波山系とその周辺
	2	2 入道山系とその周辺
	3	3 笠置山系とその周辺
	4	4 北摂山系とその周辺
	5	5 太平洋側の沿岸
近畿圏	6	6 花巻山系とその周辺
	7	7 津和野山系
	8	8 大谷山系とその周辺
山陰圏	9	9 高尾山系とその周辺
	10	10 北摂山系
	11	11 丹波山系
山陽圏	12	12 新山山系
	13	13 丹波山系・北摂山系
	14	14 丹波山系
	15	15 三都府山系とその周辺
	16	16 北摂山系
	17	17 丹波山系・北摂山系
	18	18 丹波山系
	19	19 丹波山系
	20	20 丹波山系
	21	21 丹波山系
	22	22 丹波山系
	23	23 丹波山系

※別冊の冊子等に、自然エリアの名称と位置が図として表示してあります。

「関西の活かしたい自然エリア」とは何か

関西広域連合が目指す姿

- 生物多様性の保全を推進し、豊かな自然環境を創出して、人と自然が共生している。
- 生物多様性と結びついてきた文化や伝統を、歴史を継ぎ受け継ぎながら、発展させていく。
- 自然環境の豊かさが都市圏の発展に資する。春・夏・秋のつばきを調査し、新記録を更新した広域的な観点から、生物多様性保全上重要な地域として、23箇所に「関西の活かしたい自然エリア」を調査しました。

関西広域連合 環境部 自然環境課

選定の経緯

【現状・課題】 生物多様性の保全、生物多様性の回復性の低い自然環境、自然環境の保全、生物多様性の回復性の低い自然環境

【手法】 情報ネットワーク等を活用して多様な生物多様性の保全の一元的な取組を推進

【結果】 「関西の活かしたい自然エリア」の選定

【目標】 生物多様性の回復性の高い自然環境の創出、生物多様性の回復性の低い自然環境の保全

エリアの選定

生態系サービス（自然環境の豊かさ）の向上、自然環境の豊かさを向上させること、自然環境の豊かさを向上させること、自然環境の豊かさを向上させること

【これまでに】 自然環境の豊かさを向上させること、自然環境の豊かさを向上させること、自然環境の豊かさを向上させること

【関西の活かしたい自然エリア】 自然環境の豊かさを向上させること、自然環境の豊かさを向上させること、自然環境の豊かさを向上させること

3 播磨灘とその沿岸

播磨灘は、瀬戸内海の東部に位置し、瀬戸内海の重要な生態系の一つです。この地域には、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。

この地域は、豊かな自然環境を有しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。また、この地域は、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。

9 東播磨・北淡路

高尾山系とその周辺は、生物多様性の観点から重要な地域です。この地域には、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。

この地域は、豊かな自然環境を有しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。また、この地域は、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。

16 北摂・南丹

北摂山系とその周辺は、生物多様性の観点から重要な地域です。この地域には、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。

この地域は、豊かな自然環境を有しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。また、この地域は、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。

14 丹波山地

丹波山系とその周辺は、生物多様性の観点から重要な地域です。この地域には、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。

この地域は、豊かな自然環境を有しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。また、この地域は、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。

20 氷ノ山・後山

氷ノ山山系とその周辺は、生物多様性の観点から重要な地域です。この地域には、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。

この地域は、豊かな自然環境を有しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。また、この地域は、多くの貴重な生物種が生息しており、その保全が生態系の健全な維持に不可欠です。



オオタカ剥製